

会 議 録

会議の名称		令和３年度第１回行田市史編さん委員会
開催日時		令和３年１１月３０日（火） 開会：１５時３０分　・　閉会：１６時３０分
開催場所		行田市産業文化会館　２Ａ会議室
出席者（委員） 氏名		岸田昌久　　向井隆健　　劔持和夫 坂本和俊　　根岸茂夫　　小島孝夫
欠席者（委員） 氏名		田代脩、津田馨、田村均
事務局		文化財保護課長　　中島洋一 文化財保護課　　井桁夏美 文化財保護課　　久保康顕
会議内容		別紙会議録のとおり
会議資料		・当日配布のものを別添
その他必要 事項		
会議録の 確定	確定年月日	主催者記名押印
	令和　３年１２月２０日	

発言者	会 議 の 経 過(議題・発言内容・結論等)
中島課長	＊市民憲章唱和(感染予防のため課長のみ代表唱和) 1. 開会宣言
岸田委員長	2. 委員長よりあいさつ 最後の刊行となる考古編には、全国的に有名な稲荷山古墳出土の鉄剣の事項が盛り込まれる。これにより行田市の履歴書ともいべき行田市史が完結することとなり、喜ばしい。よろしく討議いただきたい。
中島課長	3. 議事 ○事務局から会議資料を配布。 ○岸田委員長が議事を進行。 (1)令和3年度のこれまでの事業報告 1 事務局の活動について ①資料編『考古』の編さん・刊行関係業務 刊行へ向け、原稿・写真・図版を編集し印刷業者へ入稿を進めている旨を説明。本巻編さんの付随作業として、過去の発掘調査写真・フィルムや発掘調査報告・記録、また本巻収録の関連資料について、必要に応じて整理・保存・目録化作業をおこなっている旨を説明。刊行にあたっての販売価格を検討してきたことを説明。 ②これまでの編さん業務の整理・管理関係 これまでの編さん業務でもたらされた有形の編さん資料(手書き原稿、複写資料ほか)、無形の資料(パソコン上のデジタルデータ)について、昨年度に引き続いて整理・保管作業を進めている旨を説明。 ③行田市史および編さん資料をもとにした教育普及活動 市内公民館で計5回の歴史講座をおこなった旨を説明。 2 専門部会(考古)の活動について 刊行へ向けた原稿の調整や校正、写真・図版の選定作業等をおこなった旨を説明。
岸田委員長	意見・質問をお願いいたします。 (とくになし) それでは、了承いただいたことでよろしいか。
参加委員	(了承の意思表示)

岸田委員	引き続き説明をお願いします。
中島課長	(2) 令和 3 年度の今後の事業計画について 1 事務局の活動 ①資料編『考古』編さん・刊行業務関係 これまでの作業を継続して本巻関係の資料収集・保管と刊行にあたりるとともに、掲載写真の掲載許可手続きや、関係者・団体への配布・発送の業務が加わる旨を説明。 ②これまでの編さん業務整理・管理関係 これまでの作業を継続し、各種資料を引き継ぐ旨を説明。 ③行田市史および編さん資料をもとにした教育普及活動 郷土博物館等での講話を来年度も続けていく予定である旨を説明。
岸田委員長	今後の活動について説明がありました。質問をお願いします。
向井委員	将来、自治体どうしの合併があった場合、行田市史に関係する資料はどう扱われるのか。
中島課長	将来どのような合併があるのかわからないが、行田市史編さんで集まった各種資料は、今後地域の歴史を総括するうえでの基礎データとなり、また新しい町づくりのデータになる。適切に引き継がれるよう努める。
岸田委員長	行田市に合併した旧南河原村の自治体史や資料については、どうなっているのか。
中島課長	平成 17 年度に南河原村と合併し、行政文書についてはすべて引き継いでいる。南河原村の自治体史編さんは未着手であったため、そうした編さん事業関係の資料はない。これまで必要に応じて調査をおこない行田市史編さんに生かしており、また考古編でも南河原地区を取り上げる。
岸田委員長	行田市史は編さんを終えるので、よかった。 それでは、只今の説明、了承いただけますでしょうか。
参加委員	(了承)
岸田委員長	それでは引き続き説明をお願いします。
中島課長	(3) 資料編『考古』の編集・刊行について

	配布資料にもとづき、体裁・構成・頁数、令和４年３月の刊行までのスケジュール、印刷業者の決定などについて説明。また、研究者・一般・行田市民の３者それぞれへ向けた内容配慮について説明。 発行部数は、『考古』の一つ前の刊行になる普及版『行田の歴史』の部数と同じ 700 部、価格はこれまでの市史より高い 4400 円を考えている。部数や価格について、ご意見をいただきたい。
岸田委員長	坂本部会長、補足をお願いします。
坂本部会長	価格は、4000 円くらいが妥当であろうと思う。
劔持委員	研究者ならともかくも、4400 円は市民向けとしては価格が高いと思う。
岸田委員長	4000 円で進めていただきたい、というのが委員会の意見です。ほかにご意見は。
根岸部会長	第 7 章「中世」の項目である「忍城跡」に関係しては、角場などの近世の遺構がある。中世としてくくってしまうことに違和感がある。
中島課長	7 章の名称については、部会とはかつて再考することにしたい。
岸田委員長	角場とは。
中島課長	鉄砲射撃のいわば練習場で、埼玉古墳群の鉄砲山古墳のところにあって近年発掘をおこない、成果があった。 第 7 章の「忍城跡」に盛り込む概説は、中世と近世を含むものになるはずだ。
岸田委員長	市民のためにも、最新情報を紹介してほしいと思う。
小島部会長	印刷業者は定評のある会社なのでよかったが、並製本で 500 頁を越える厚さになると、背表紙の割れが出ることがある。このような背割れの防止のため、朝日印刷とよく相談を。また、カラーの採用は読者のためによかった。
岸田委員長	それでは、『考古』の編集・刊行につきまして、価格は 4000 円ということにしたいと思います。 その他、お願いします。
中島課長	行田市史編さん委員の任期は今日までとなっており、了解いただきたい。編さん事業終了間近まで来れたことに感謝申し上げる。刊行した

	『考古』をしっかりお届けしたい。今後は編さん事業の成果を、これから始まる文化財保存活用地域計画に生かしていくので、応援していただきたい。なお、刊行を記念した慰労会やパーティー等は、時節柄おこなわない方向で考えており、ご意見をいただければと思う。
参加委員	(刊行を記念した慰労会やパーティー等をおこなわないことについて、了承の意思表示)
岸田委員長	編さん事業がここまでくる過程には紆余曲折があった。当初の刊行計画順の通りにいかないほど、編さんは大変であった。
根岸部会長	埼玉県史には昭和初期に刊行されたものがあったが、その成果はそののち刊行された『新編埼玉県史』には生かされなかった。引継ぎがなかったからだ。今回の行田市史は 50 年後への引継ぎを考えてほしい。 近世資料編の編さんにあたり収集された資料についても、集まった資料すべてが資料編に収められたわけではない。こうした未公開の収集資料を公開できる何らかのシステムを作ってほしい。文化財報告書でもよいので、収集文書や調査内容を公開していったほしい。将来のために活用の体制を整えてほしい。
中島課長	資料編に使われなかった資料については、きちんと引継がれるよう考えていくとともに、今後の文化財保存活用地域計画で活用していくつもりだ。
岸田委員長	今回の『考古』編さん関係の資料については、どうなっているのか。
中島課長	埋蔵文化財センターで保管している。
岸田委員長	組織上の横の連携をしっかりとってほしい。
小島部会長	今回の編さん過程で注目されたもののひとつが、足袋製造の様相であった。そしてそれに関連する諸資料が国指定重要有形民俗文化財や日本遺産となるなど、多くのことにつながった事業であったと思う。こうした市史編さん事業の意義が改めて理解されるように願っている。 これから策定する文化財保存活用地域計画も、こうした流れの発展・展開に位置するものとなり、効果をあげると思う。
中島課長	市史編さんが、足袋関係の資料が国登録有形民俗文化財から国指定重要有形民俗文化財に発展するひとつの契機となった。国重要文化財となったことを、市行政に生かしていきたい。
岸田委員長	明るい話題ではなかろうか。市史編さんの成果の活用を今後、市全

	体で進めていく必要があると思う。
津田委員	市史の販売場所について、中央公民館や地域公民館では販売しないのか。
中島課長	一般の書店に置くことはできないが、公民館での販売のご意見について、考慮していく。
岸田委員長	それでは、刊行完結の催し事については、おこなわないことにいたします。 (議事終了のあいさつ)
中島課長	長い間、ありがとうございました。 (閉会あいさつ)
	以上